

首里城火災



発行所
山形新聞社
〒990-8550
山形市旅籠町2-5-12
総合案内 023(622)5271
読者センター 023(622)5666
(平日9時30分～17時30分)
(c)山形新聞社2019

2019年
10月31日
〈木曜日〉

電子
速報版



特別号外

■やまがた
ニュースオンライン
yamagata-np.jp

■携帯・スマホ
yamagata-np.jp
/mobile/



詳しくは山形新聞を
ご覧ください。

那覇 正殿、北殿ほぼ全焼

31日午前2時40分ごろ、那覇市の首里城で「煙が上がっている」と警備会社から119番があつた。正殿など



炎上する首里城の正殿
＝31日午前4時18分、那覇市（石崎豪さん撮影）

え、消防車両が10台以上出動して消火に当たったが、首里城の正殿と北殿、南殿がいずれもほぼ全焼した。那覇署などは周辺住民を避難誘導した。けが人の情報は無い。

正殿と北殿、南殿はいずれも木造。今月27日からは琉球王国の儀式を再現した「首里城祭」が開かれていた。那覇署などが出火の原因や経緯を調べている。

琉球王国の中心地だった首里城は太平洋戦争で建物が全て焼失したが、1992年に主要施設が復元された。首里城跡を含む「琉球王国のグスクおよび関

連遺産群」は2000年に世界遺産に登録された。

首里城 1429～

1879年に続いた琉球王国で中心的役割を果たした城。国王の執務室や行政施設からなり、正殿は2層3階建ての造りや竜の彫刻が施された柱といった独自の形式を持っている。1925年に正殿が国宝に指定されたが、太平洋戦争で建物は全て焼失した。92年に主要施設が復元され、2000年の九州・沖縄サミットでは北殿が首脳夕食会場となった。

購読・試読の

お申し込みは

フリーダイヤル

0120-81-8040